

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年11月）

委員会開催日(2025年11月25日)時点のデータになります。

## 『今月のトピックス』

- インフルエンザの流行警報が発令されました。昨シーズンと比較して1か月ほど早い流行で、患者報告数も増加が続いています。
- 腸管出血性大腸菌感染症は集団感染(県外)の報告があります。
- インフルエンザなどを原因とした急性脳炎の報告が複数あります。
- 梅毒は幅広い年齢層で患者の報告が続いています。

## ◇ 全数把握の対象 <2025年10月20日～11月23日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	24件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	4件
E型肝炎	2件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
A型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	6件
レジオネラ症	6件	水痘(入院例に限る)	1件
アメーバ赤痢	5件	梅毒	23件
急性脳炎	3件	百日咳	67件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件		

1. **腸管出血性大腸菌感染症:**10歳未満～60歳代で、O 血清群は O157 が 19 件、O26 が 2 件、O103 が 2 件、O166 が 1 件です。経口感染と推定される報告が 14 件、接触感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 9 件です。
2. **E型肝炎:**いずれも 50歳代で、感染経路等は不明です。
3. **A型肝炎:**30歳代で、感染経路等は不明です。
4. **レジオネラ症:**60歳代～90歳代で、肺炎型が 5 件、ポンティック熱型が 1 件です。感染経路は水系感染と推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 4 件です。
5. **アメーバ赤痢:**30歳代～60歳代で、経口感染と推定される報告が 1 件、性的接触(同性間)と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 3 件です。
6. **急性脳炎:**10歳未満～10歳代で、病型はインフルエンザ A が 2 件、単純ヘルペスウイルスが 1 件です。感染経路は、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、接触感染と推定される報告が 1 件です。
7. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症:**60歳代で、血清型は A 群です。感染経路等は不明です。
8. **後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む):**20歳代～40歳代で、感染経路は性的接触(同性間)と推定される報告が 3 件、感染経路等不明の報告が 1 件です。
9. **侵襲性インフルエンザ菌感染症:**いずれも 80歳代で(ワクチン接種歴不明)、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 1 件です。
10. **侵襲性肺炎球菌感染症:**10歳未満～80歳代で(ワクチン接種歴 4 回が 2 件、1 回が 1 件、無が 1 件、不明が 2 件)、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 4 件、感染経路等不明の報告が 2 件です。
11. **水痘(入院例に限る):**80歳代で、(ワクチン接種歴不明)、感染経路等は不明です。
12. **梅毒:**20歳代～80歳代で、早期顎症梅毒 I 期 10 件、早期顎症梅毒 II 期 3 件、無症状病原体保有者 10 件です。性的接触による感染と推定される報告が 17 件(異性間 12 件、同性間 1 件、同性間・異性間 1 件、詳細不明 3 件)、感染経路等不明が 6 件です。
13. **百日咳:**10歳未満～90歳代(ワクチン接種歴 4 回 18 件、2 回 1 件、無 3 件、不明 45 件)で、家族内感染と推定される報告が 9 件、周囲の流行と推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 56 件です。

報告週対応表	
2025年第43週	10月20日～10月26日
第44週	10月27日～11月2日
第45週	11月3日～11月9日
第46週	11月10日～11月16日
第47週	11月17日～11月23日

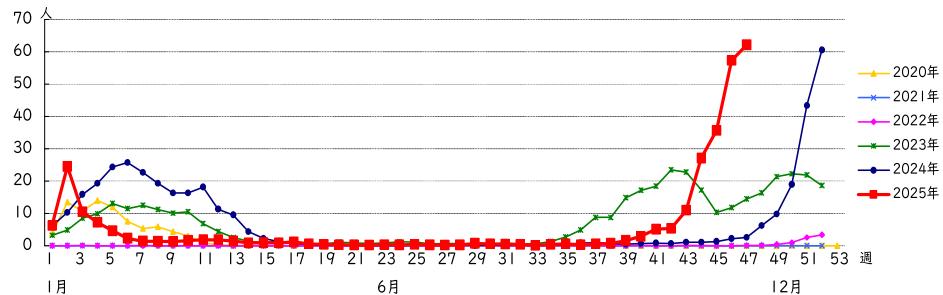
## ◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94→51、内科定点は59→39 医療機関に変更されました。

## 1 インフルエンザ

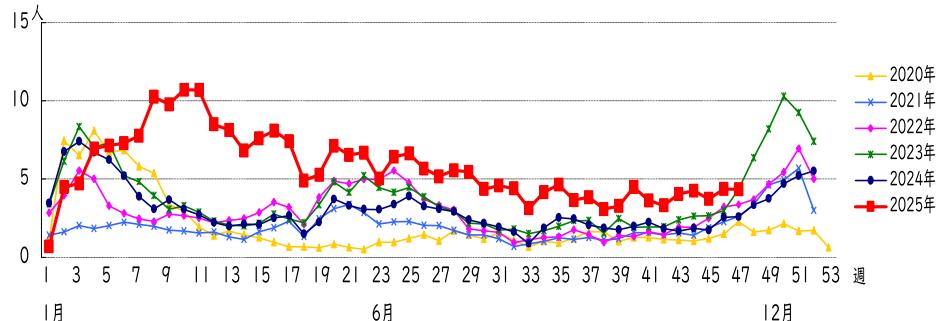
第37週(9月8日～9月14日)

以降増加が続き、第43週(10月20日～10月26日、定点あたり10.95)に流行注意報発令基準(10.00)を、第45週に35.99で、流行警報発令基準(30.00)を超えてました。その後増加が続き、第47週は62.12です。詳細は横浜市インフルエンザ流行情報をご覧ください。



## 2 感染性胃腸炎

過去5年の同時期と比較すると比較的高い値で推移しています。第47週は3.73です。



## 3 性感染症(2025年10月)

性器クラミジア感染症	男性:40件	女性:17件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:20件	女性:15件
尖圭コンジローマ	男性:20件	女性:3件	淋菌感染症	男性:20件	女性:2件

## 4 基幹定点週報

	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.50	1.75	1.50	0.50	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 5 基幹定点月報(2025年10月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025年第43週～第47週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点162件、小児科定点3件、基幹定点4件でした。

12月1日現在、表に示した各種ウイルスの分離3株と遺伝子142件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025年第43週～第47週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状等		インフルエンザ	RSウイルス感染症	発熱
	上気道炎	下気道炎			
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1				
	5				
インフルエンザウイルス AH3	-	-	-		-
	51	12	3		5
インフルエンザウイルス A (型未同定)	-				
	10				
インフルエンザウイルス B (型未同定)	-				
	1				
ライノウイルス	-	-			
	17	6			
ライノウイルスorエンテロウイルス	-	-			
	14	1			
パラインフルエンザウイルス 2型	1				
	1				
パラインフルエンザウイルス 4型	-				
	1				
RSウイルス	-			-	
	7			2	
ヒトメタニユーモウイルス	-	-			
	1	2			
アデノウイルス 1型		1			
		-			
アデノウイルス 型未同定	-	-			
	2	1			
合 計	2	1	-	-	-
	110	22	3	2	5

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【微生物検査研究課 ウィルス担当】

### 〈細菌検査〉

2025年第43週～第47週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症20件、侵襲性肺炎球菌感染症2件、侵襲性インフルエンザ菌感染症2件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件でした。

基幹定点からの検査依頼はサルモネラ症1件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症5件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎7件、感染性胃腸炎1件、「ARI定点」から2件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025年第43週～第47週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
			O157:H7	VT1 VT2 (12)
			O157:H7	VT2 (2)
			O26:H11	VT1 (1)
			O103:H2	VT1 (1)
			O103:H-	VT1 (1)
			O111:H-	VT1 (1)
			O166:H28	VT2 (1)
			O168:HUT	VT2 (1)
保健所		20		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	24B (1) <i>Streptococcus pneumoniae</i> 24F (1)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	<i>Haemophilus influenzae</i>	(2)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	A群溶血性レンサ球菌	TUT (1)
基幹定点	サルモネラ症	1	<i>Salmonella</i>	Muenchen (1)
分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所	レジオネラ症	5	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2) レジオネラ属菌 培養陰性 (3)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液 便	溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎	7 1	A群溶血性レンサ球菌 T4 (5) A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (2) <i>Staphylococcus aureus</i> エンテロトキシンA産生 (1)
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	2	百日咳菌遺伝子 陰性 (2) 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性 (2) 溶血性レンサ球菌 培養 陰性 (2) 百日咳菌培養 陰性 (2)

【微生物検査研究課 細菌担当】